

安楽寺だより第43号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

「あなたと不安を共にしたい」

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。実に困難な状況が続いていると思います。

新型コロナウイルスの感染拡大によってすべての人が何かしら影響を受け、不安な気持ちで日々過ごしていることと思います。また、梅雨前線の豪雨によって被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスについては、終息の見通しが立たず、感染者数がまた増え始めているなど不安に思えることばかりです。こんな時こそ、仏さまの智慧を尋ね、どのように処すれば良いか考えてみましょう。

4月中旬より寺の玄関前に掲示しているポスターを紹介いたします。浄土真宗本願寺派福岡教区鞍手組くらてそが作成したもので、

「あなたと不安を共にしたい」

と大きく書かれています。



「ウイルス感染のことが本当に心配です。デマや疑心暗鬼で心も迷い痛みます。だからこそ今、阿弥陀さまの光をあおいで手を合わせ、お念仏を申してせめて自己本位になりがちな私の姿を振り返り、少しでもその不安を共にして、助け合い・敬い合い・譲り合いの心をはぐくめたらと思います。」

本当にそうだなあとと思います。

《あれこれ抄》

▼夏の「安楽寺だより」をお届けします▼ファン待望のプロ野球とJリーグが無観客形式で開幕を迎えました▼新型コロナウイルス感染症防止のために特別措置を導入するなど工夫をしながら向き合っています▼スポーツニュースが報じられるのは実に喜ばしいことです▼NHK朝ドラ「エール」の主人公・古閑裕而さんは数多くの作曲を手掛けました▼親鸞聖人700回大遠忌の仏教讃歌「しんらんさま」の作曲もされたそうです▼島倉千代子さんが歌われたこともあり、発表当時、多くの人々に愛唱されたとか▼マスク着用で安心して手洗いを疎かにおろそすると感染リスクが高まるそうです▼免疫力が下がる原因には脱水症状と睡眠不足もあるので、ごうぞうごう留意ください。

永代経法要をお勤めしました



今年も5月10日に、安楽寺永代経法要をお勤めしました。いつも通りにお飾りし、ご先祖への報恩謝徳の気持ちを奉告しましたが、新型コロナウイルスの影響で、勤め合い僧侶の出仕とご門徒のみなさんの参拝のない形での法要となりました。

法要をお勤めにするにあたり、今は亡き大切な方のお名前を法要中に読み上げる旨をご案内したところ、多くの方から法名簿（故人の法名・命日を書き入れた用紙）をお預かりすることになりました。

法要の趣旨を尊前に奉告する^{ひょうびやく}表白の中で、お一人ずつお名前を読み上げさせていただきました。



寺の家族と、総代さんには無理のない^{しゆくしゆく}範囲で参列いただき、肅々とお勤めしました。

💡 まめ知識

「選択」を センジャク と読むのは仏教の習わしです。通常の漢音読みに対して呉音読みと呼ばれています。仏教が日本に伝来した頃の中国王朝が漢の前の呉だったからです。他にも「利益」を リヤク、「自然」を ジネン と読むのはそのためです。

【お経の中の大切な言葉】

せんじゃくほんがん
選択本願

〔 選び取ってくださった根本の誓願
『教行信証・行文類』 〕

しんらん ほうねん せんじゃくほんがん
親鸞聖人の師匠である法然上人が『選択本願念仏集』を著して、阿弥陀さまが数ある“行”の中から念仏を選び取り、念仏以外の諸行を選び捨てるという「選択」をされたと明らかにしました。また、親鸞聖人は、阿弥陀さまの四十八願（48個の誓願）のうち、根本の誓願である第十八願（生きとし生けるものを必ず救う）のことだと示されました。選択された“行”だからこそ「お念仏」によってすべての人が救われるとお聞かせいただき、お念仏を申す日々を送らせていただきます。



「法事って延期しても良いでしょうか？」

緊急事態宣言は解除されたものの新型コロナウイルスによる影響はまだ続きます。外出を控えたり、出来るだけ人と会わないようにしたりして過ごされていることと思います。

そんな中、法事について、どうしよう？と迷っていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。

Q：法事を延期しても良いか？

A：はい、やむを得ない事情がある場合、延期や中止も致し方ありません。故人を思う心を大切にしてください。

ある方からご相談を受け、寺から十分にご案内できていないと気付きました。

年回忌法要の案内を約2カ月前にハガキでお知らせしていますが、それを補足するものとして、Q&A形式で寺としての考えをお伝えいたします。

—————【よくある質問】—————

Q：法事は命日を過ぎて大丈夫か？

A：問題ありません。ご命日近くで集まりやすい日程で調整しましょう。確かに前倒しにする慣例がありますが、故人を思う気持ちが大切です。

Q：法要を自粛すべきか？

A：寺としては、換気をし、十分に間隔を取り、感染症対策を行って法要を行いますので、ご安心ください。ただし、10人を超える場合はご相談ください。

Q：遠方のため行かれないので参拝者無しで住職にお願いしたい

A：承ることは可能です。ご相談ください。あるいは「ネット参拝」も可能ですのでご検討ください。※(4)頁参照

《季節の思い出》



(5月20日)

参道のアジサイ

(6月6日)



切り灯笼を本堂に飾りました
(お盆の準備です)

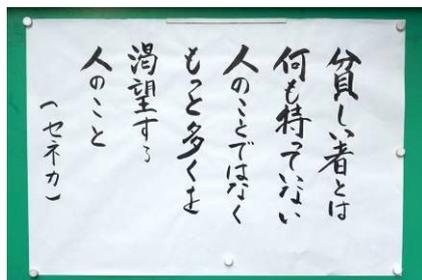


今年もスズムシを育てています
(7月7日)

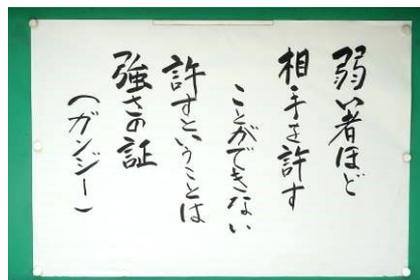


月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

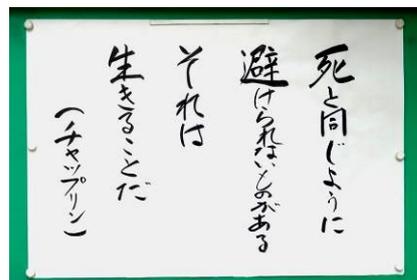
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(筆：前住職)



2020年5月



2020年6月



2020年7月

「ネット参拝」を始めました

お寺参りの難しい方がいらっしゃいます。ご高齢になり出掛けるのが大変になった方、病院や施設などにいらっしゃる方、遠方に引っ越されて簡単には移動できない方などです。また、新型コロナウイルスの影響で外出を控えたいといった状況もあります。

そこで、ZOOM というツールを利用して、パソコンやタブレット、スマホの画面からインターネットを通じて安楽寺本堂の法要に参拝できるよう準備しました。また、LINE ビデオ通話での接続も可能です。



盂蘭盆会法要はライブ配信もします

7月15日は本堂にて合同の^{うらぼんえ}お盆のお勤め(盂蘭盆会法要)を行います。

日時：7月15日(水)

午後1時(13:00)～約20分

当日は、インターネットを通じて法要の様子をご覧いただけるようにライブ配信をする予定です。宜しければご視聴ください。

ご視聴は Web ページ「ライブ配信」から。

<https://www.anraku-ji.org/live.html>

※スマホでQRコードを読み込むと「ライブ配信」のページにつながります。



ネット参拝やライブ配信は、新しい取り組みですので違和感があるかもしれません。ご意見をいただきながら、順次改善していきたいと考えています。

ご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

「定例法話会」の今後の予定(毎月第3日曜日 午後2時～)

新型コロナウイルス感染拡大防止策を整え、安全に十分に配慮して開催します。

7月19日(日) 8月16日(日) (9月はお休みです)